

会議等結果報告書

会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	上富子育 第1235号
		決裁期日	令和6年2月29日
名称	令和5年度 第2回子ども・子育て会議		
日時	令和6年2月16日(金) 10:00~11:40		
場所	保健福祉総合センターかみん 1階 多目的ホール		
出席者	子ども・子育て会議委員13名(別紙名簿参照) 役場 保健福祉課 深山課長、星野課長、武山主幹、末永主幹、白井主査、菊地主任		
内容	<p>○開会、事務局挨拶(深山課長)</p> <p>おはようございます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、各委員におかれましてはご出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいまから令和5年度第2回子供子育て会議を開催いたします。本日は松原委員長が都合によりズームでの出席になりますので、ご承知おき願いたいと思います。</p> <p>本日の会議につきましては、配布しておりますレジュメのとおりでございますが、一つ目は、こどもの生活実態調査結果を報告させていただくこと、二つ目は、こども計画ニーズ調査の内容についてでございます。各委員様の忌憚のないご発言をお願いしたいと思います。</p> <p>今回 Zoom がありまして、今松原先生確認していただいておりますが、発言におきましてはマイクを回しますので、それから発言の方をお願いしたいと思いますので、若干タイムラグが生じると思いますが、こういった会議でございますのでご承知おきの方お願いいたします。では、レジュメの1番目でございます。松原委員長よりご挨拶いただきます。委員長よろしく願います。</p> <p>1 委員長挨拶</p> <p>座ったままで失礼します。皆様おはようございます。</p> <p>札幌では先日、気温が上がって雪解けが始まったかと思ったのですがまた雪が結構降り積もっているような状況です。上富良野町は良い天気みたいですけれども、北海道の中でも地域によって違うんだなと思いつつ、ちょっと拝見しています。</p> <p>また、そろそろ新こどもセンターが建設されると思いますけれども、進捗の方はいかがでしょうか。</p> <p>今年はお正月早々、石川県能登半島を震源とする大きな地震があり、皆様の中にはご家族などご縁のある方が被災された可能性もあり震災を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>		

またこのような災害を踏まえて、私たち自身も普段から災害について準備しつつ、起こった時の対策を日頃から検討していく必要性を感じた次第でございます。さて、本日は雪のことも想定しまして、大変恐縮ですが遠隔で会議に参加させていただくことになりました。こちらの声が聞き取りにくかったり皆様の声や発言がわかりにくかったりする可能性もあって進行に心配があるんですけども、午前中の短い時間でございますので、子ども子育て会議において活発なご意見を頂きますと幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

(1)子どもの生活実態調査結果について【資料1】(末永主幹より説明)

子育て支援班事務局の末永と申しますよろしくお願いいたします。

それでは先にお配りしております上富良野町子どもの生活実態調査結果報告書の方をご覧ください。ご覧とおりますごく厚い結果表になっておりますので、概要の方だけお話させていただきます。

表紙と次のページめぐりまして3枚目のところになります、調査の概要というページで下のページ番号は一番になります。こちらをご覧ください。

調査の目的としましては調査を行う前にご説明をさせていただきましたとおりで、調査対象は上富良野町にお住まいの小学校5年生、中学校2年生の保護者の方と上富良野町の高校生2年生と3年生の保護者とそのお子様の方に配布いたしまして、回収状況につきましては⑥番の調査票の回収状況と小学校5年生は約70%、子どもと保護者の両方合わせまして大体7割ぐらい、中学2年生につきましては63.9%、高校2年生・3年生につきましては約22%で、高校生につきましては郵送で行っておりますのでちょっと回収率が低いですが、小学校5年生と中学校2年生に関しましては学校を通じて配布させていただいたこともあり、回収率の方が高くなっております。

調査の内容につきましては、前の会議の時にご説明をさせていただきましたとおりです。ページ数も多くて、大変説明が長くなってしまいますので割愛させていただきますが、別冊のとおりになっておりますので、こちらの方は令和6年度に策定する子ども計画の中に、子どもの貧困対策に関する計画なども含めていきますのでそちらの方で活かしていきたいと思っております。以上です。

→質疑等なし。

(2)こども計画ニーズ調査について【資料2】(末永主幹より説明)

子ども計画のアンケートにつきましては、事務局よりご説明させていただきます。

アンケート調査の内容につきましては、先にお配りしております子ども子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査という就学前児童用と就学児童用の2冊になります。

今回の調査の目的としましては、令和7年度から5年間のこども計画の中に子ども子育て支援事業計画第三期になります、こちらの方を含めて策定をさせていただきます。

対象につきましては、こちらの就学前児童用を就学前の保護者の方にお配りします。

2月1日現在で、対象者の人数を出させていただきましたところ未就学の保護者の方は298件で、就学児童用の方は小学校1年生から3年生の保護者がいるご家庭に配布します。こちらは191件となっております。

(次ページへ続く)

ただし、兄弟がいる場合は下のお子様を対象として実施いたしますので、全員に1冊ずつ配られるわけではなく、ご家庭に1冊ずつ届く形となりますが、小学校1年生から3年生の保護者と未就学の保護者の方の両方のお子様がいらっしゃる場合は、両方で1冊ずつ届くこととなります。こちらの方が、小学校1年生から3年生の保護者に対しては、学校を通じて配布をさせていただきます。

未就学児の保護者につきましては、各こども園の方にご協力いただきまして、そちらで配布をしていただきます。

園に通われていないお子様につきましては、郵送でご案内させていただきます。

スケジュールについてですが、こちらの案内をこれからご検討いただきまして、アンケートの確定をさせていただきます。配布が3月の上旬を予定しております。アンケート調査の表紙にも書いておりますが、対象の最終日を3月18日(月)を予定しています。そこから集計作業を行いまして、来年度、計画の参考にさせていただきます。

アンケート調査の内容についてですが、5年前に第二期の子ども子育て事業支援計画を策定する際に実施しましたアンケートをもとに、昨年12月に出されました子ども大綱の中で追加となっている項目をアンケートに追加させていただきます。

内容につきましてはアンケート調査のお配りしている内容で検討させていただきます。こちらについて”こんなことを入れたほうがいい”とか、”これはいらない”等についてご検討をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

→次のとおり質疑・応答

内 容

委員：就学前児童用をやってみました。下のお子さんとマルしてくださいということで、1ページ目の問4は、うちは3人いるので一番下ということで、2歳で考えていた時に、”宛名のお子さん”というのは誰宛で届くのでしょうか？また、お子さんの妹・弟の記載は必要ありますか？

事務局：お配りする封筒にお子様の名前を記載しておりますので、そちらのお子様についてのことを書いていただきたいということになっております。下のお子さんって書いてもわからなくなってしまうかもしれませんので。保護者とお子様の両方の名前を記載してお出しします。また、生年月日が同じで双子のお子様がいる場合、どちらのお子様か上のお子様でどちらのお子様か下のお子様かわからないため書いております。

委員：アンケートを記入する際、”何月何日現在”と記載があれば、よりわかりやすいのですが。

事務局：わかりました。ありがとうございます。

委員：就学前児童用アンケートの7ページの問16-4ですが、次の頁に跨って何の質問かわからなくなるので、セットにさせていただけると助かります。

事務局：わかりました。ありがとうございます。

委員：就学前児童用アンケートの10ページの問20の1のC”マタニティ教室を今後利用したい”について、はい又はいいえで回答するところですが、今までに利用したことはありますが、今後子どもを産む予定がないので”いいえ”にマルをつけるのですが、今まで利用して良くないと感じたから”いいえ”にマルをつけるような形になってしまって申し訳ないと思ったところ。

事務局：わかりました。ありがとうございます。

(次ページへ続く)

内 容

委員：就学前児童用アンケートの19頁の問32と就学児童用の10頁の問10で”あなたは、日頃、子育てに関する情報をどこから入手していますか”という問ですが、回答番号の中に親・兄弟・親戚などの言葉が入っている回答が一つもないので、回答を選択する番号の中に付け足してもよいのではないかと思います。

事務局：問9のところで”相談できる人がいますか”のところは親や兄弟、お友達や近所の人等の項目が入っているので、そちらの方で情報を貰うということも含まれると考えていたので、それらの項目を入れていなかったのですが、入れてみてもいいかなと思いますので、貴重なご意見ありがとうございます。

委員：就学前児童用アンケートの20ページの問34で、「こども誰でも通園制度」ですが、私の子はすでに通園しているので対象とならないかもしれませんが、通園していなかったら利用してみたいと思ったところです。もしこの制度があったら利用したいかどうかで回答することで宜しいでしょうか。

事務局：今の状況ではなく、魅力的な制度だと思うかどうかで回答していただくと大変参考になるのでともありがたいです。

委員：こども誰でも通園制度は費用がかかるものでしょうか。それによって利用するかしないかが決まってくると思うので。問いには特に制度内容の記載がないのと、あまり制度を知らない人が問を見たときにイメージしにくいなと思いました。

事務局：この制度はまだ正式に実行されておらず、今全国の募集した園を対象に、お試しで実施しているところです。そのため、これから詳しいことや料金等については決まってくることになります。今の時点では”こういうふうになることを検討しています”という形でしかご案内ができない状態です。正式に導入をされるとなると令和8年度からになる予定です。ですので、まだ5年度、6年度、7年度はお試しという形となり、全国で実施するということにはならないので、これからまた詳しいことが、わかってきましたら、町の皆様にお知らせをしていきたいと思っておりますが、今の時点では明確なものが何もないので、言い切る形でのアンケートはできませんが、こども大綱の方ではこの制度をはやることになっておりますので、もし本制度があれば利用したいかどうかをお伺いしたいものになります。

委員：こども誰でも通園制度の問に対して、令和〇〇年度から導入という記載も入れていただけると助かります。

事務局：”いつから始まる”とか”どのような形で”というのを記載できる範囲で記入したいと思います。

(次ページへ続く)

内 容

委員：就学前児童用アンケートの 21 頁の問 35 で、町が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何かという質問ですが、不妊治療のことや子どもを作りたいと思っている人たちのための施策が特になかったのも、その他の欄があるので、必要だと思ったら書き込むとは思いますが、意外とそういうニーズがあるのではないかと思うので、項目に起こしたりはしないでしょうか。

事務局：今回、子育てをしている人のアンケート調査ということで、次の未来の関係ということも先ほど意見がございましたので、その部分に繋がる軸があった方が、その他よりも、見た時に、思っている人はすぐにマルをつけやすいと思いますので、前向きに検討させていただきたいです。

委員：就学前児童用アンケートの問 35 で町が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何かという質問ですが、産後ケア事業についても記載してほしい。

事務局：貴重な意見として受け止めさせていただきます。書き方と軸をどうするかの問題もありますので、すぐに回答はできませんが、挿入の形も検討していきたいと思います。

委員：就学前児童用アンケートの 20 頁の問 35 と就学児童用アンケートの問 12 頁の問 23 で”子育て支援環境づくりに対する施策について、町が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。当てはまる番号に 5 つまでにマルをつけてください”についての選択肢の項目を見比べながら見ておりましたが、就学前児童用の方には”6.学校教育の充実”と”7.就学、進学に関する支援”が入っておりますが、就学児童用の方にはその選択肢がないのですがいかがでしょうか。この質問項目でこれがあると、小学校の保護者の方が子育てに関して、どんな困り感だったり、行政に対してどんなニーズを求めているかというのを知ることができるので、とてもありがたい情報になるなと思ったところです。また、同問の選択項目に”障害児に療育、通所支援の充実”とありますがこの障害児についてはひらがなにされた方が良いという考え方もありますが。

事務局：どちらの方にも入れるように書き直したいと思います。また、障害児の書き方については、今の時代にあわせた記載の仕方に直したいと思います。

委員：就学前児童用アンケートの 12 頁の問 23-1 で普段利用している認定こども園等の施設を利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として、当てはまる記号にマルをつけるのですが、選択肢の”1.父親が仕事を休んだ”を選んだ場合、□□日を記入することとなっておりますが、コロナにより園を休ませなくてはいけない場合、こないで下さいの意味合いの日にも含めて記載するのでしょうか。

事務局：どのようにするか考えさせて下さい。

(次のページへ続く)

(3)その他

①次回会議について（事務局より説明）

今年度は本会議で終了となります。次回につきましては、令和6年度の5月を予定しているところです。

こちらにつきましては、来年度はもうこども計画の策定に入っていきますので、今回ご検討いただきましたアンケートと前回のアンケートの結果をもとに計画を策定していく、第1回目の会議になりますので、日時決まりましたらまたご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

②新こどもセンターへの移転について（事務局より説明）

新こどもセンターは予定どおり進んでおりまして、工事は2月末ということで、3月1日に業者の方から町への引き渡しという予定で決まっております。

その後、引っ越し等々がございまして、開始が令和6年4月1日ということで決定しております。

引っ越しは二段階ございまして、現在、社会教育総合センターに間借りしております子どもセンターとファミリーサポートの方は3月12日に引っ越し予定です。

かみに事務所のある子育て支援班は3月16日引っ越し予定となり、東児童館は3月17日の引っ越し予定としております。

訪問セレモニーとお披露目会も予定しているところがございますが日程については理事者のご都合もございましてそれにより決めていきます。

また、予定が決まったらご案内させていただきます。

引っ越し後の子育て支援班、子どもセンターにおける電話番号についても、既存の電話番号を使用します。

内 容

→次のとおり質疑・応答

委員：新子どもセンターは、保護者付き添いの小さい子ゾーンと小学生用ゾーンと分かれているのでしょうか。

事務局：新しい子どもセンターと東児童館の入口は別々になっておりまして建物内での行き来はできなくなっています。東児童館は一般の方に貸したりする関係もありますので、子どもセンターの方に行き来できるようにすると、子どもセンターの職員が誰もいない時間に入られてしまうと困りますので東児童館は東児童館で子どもセンターは子どもセンターでということなので建物内で行き来することはできず、一度出ていただかないと駄目な構造になっております。

また、子どもセンターのサロンにつきましてはかみのプレイルームと同じように就学のお子様は利用できません。

児童館につきましては未就学のお子さん連れての利用もできますので、大きなお子さんと小さなお子さんを1人ずつ連れていらっしゃる保護者に関しましては、一緒に連れて行くことはできます。

③その他（事務局より説明）

その他子ども子育て会議の委員さんの名簿の中で、第2号委員さんと、第4号委員さんの方の机の上に、令和6年度の委員の選出のお手紙の方を置かせていただきましたので、4月1日から新しい委員さんになりますので、推薦の方提出の方お願いしたいと思います。

（次のページへ続く）

○委員全員から一言挨拶をいただく。

- ・このような立場で関わらせていただくことでとても勉強になりました。
- ・新こどもセンターにとってもわくわくしております。貴重な時間となりました。
- ・地域の子育て家庭の保護者の皆様に支援できますようにこども園といたしましても頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしく願いいたします。
- ・よりよい環境で育てられるように、こうした会議を通じて、良い子育ての支援ができるように考えて参りたいと思っておりますので、また次年度もどうぞよろしく願いいたします。

事務局：机の上にチラシを1枚置かせていただきました。

3月2日の土曜日の午後から、旭川市立病院で思春期の外来行っている武井先生が大人の発達障害を理解するということで講演していただきます。もし興味がある方がいましたら、皆さんお誘いの上、ぜひいらしていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします

○閉会

内 容